



全国通信三田会報

第121号 2025年(令和7年)7月15日発行

発行 全国通信三田会
発行人 山岡恒夫(会長)
事務所 〒300-1282
茨城県牛久市井ノ岡町
2117 山岡恒夫
TEL 029-875-0533
編集人 星野寿美(広報部長)
印刷所 梅沢印刷所(東京都)
会報は正会員の情報紙です。
*年会費2千円
*郵便振替番号
00120-2-18806
複数年度お支払いの意向を
お持ちの方も会計処理でき
るようになりました。
*会への連絡は8面の連絡先へ

第一二一號

祝「通教卒業生17000人達成記念式典・祝賀会」ご案内

—10月18日(土)午後 三田キャンパスで実施—

全国通信三田会会長 山岡 恒夫・企画部長 出口 常雄・実行委員会事務局長 須賀 淳子



15000人式典時の集合写真

「通教卒業生17000人達成記念式典」は、昨年10月以降、慶應連合三田会ならび塾員センターなど広くご支援をいただきながら、2025年全国通信三田会4月役員会において下記のとおり開催することが承認されました。

1. 開催日時 2025年10月18日(土) 15:00~19:00

2. 記念式典(記念講演会) 15:20~16:30

(1) 山岡会長 ご挨拶

(2) 記念講演 慶應連合三田会 麻生 泰 会長
演題「停滞経済の中 現役の役割」

(3) 場 所 南校舎4階445号教室(最大約100名)

3. 記念祝賀会 17:00~19:00

(1) 場 所 南校舎4階「ザ・カフェテリア」

(2) 参加費 6500円

4. 寄付金募集 一人2000円以上をお願いします。

記念祝賀会参加者は、参加費(6500円)と寄付金(一人2000円以上)を加えた金額を、「ゆうちょ銀行振込票」に記載して事前にお振込みいただきます。

寄付金は、慶應義塾への寄付につき、税金控除可能です。

詳しくは、<http://www.kikin.keio.oc.jp/>

5. 振 込

(1) 正会員には、ゆうちょ銀行振込票を会報(121号)送付時に1枚同封しますので、必ず本振込票を使用してお振込みを行うようお願いします。

☐2025年度年会費(2000円)

☐通教卒業生17000人達成記念祝賀会参加費(6500円)

☐通教卒業生17000人達成記念寄付金(2000円以上)

該当する☐に✓を記入して、その合計額を金額欄に記載の上、合計金額をお振込みください。

記念式典・祝賀会の参加は、正会員のみとし住所・氏名・電話番号のご記入もお忘れなくお願いします。

(2) 地域通信三田会の参加希望者には、ゆうちょ銀行振込票を地域通信三田会会長に複数枚送付し、集約(全国通信三田会正会員への加入「年会費:2000円」並びに祝賀会参加費「6500円」と寄付金「一人2000円以上」納付)をお願いします。

(3) ゆうちょ銀行の振込票の口座は、以下のとおりです。

加入者名 全国通信三田会

口座記号 00120-2 口座番号 18806

(4) 上記期限は、9月30日(火)迄(厳守)をお願いします。

今後の予定

「慶應連合三田会大会」

2025年10月19日(日) 日記記念館

スローガン「集え三色旗の下に」

慶應義塾に学んだものが
世代を問わずキャンパスに集う
慶應連合三田会大会



「拡大北関東合同通信三田会ご案内」

神奈川を代表する横浜・鎌倉を文化・美食・景観をテーマに企画をいたしました。

◆日 程: 2025年9月6日(土)~2025年9月7日(日)

◆場所・予算

[6日 横浜]

日帰 10:30~17:00 (予算:約3,000円 中華街昼食代)

夕方 17:30~20:00 (予算:約7,000円 夜景レストラン代)

[7日 鎌倉]

10:00~14:00 (予算:約2,000円 老舗日本食代)

◆ご宿泊施設(9/6一泊シングル)

「東横イン関内スタジアム」(約11,200円)

◆メ 切: 7月末日

◆お問合せ先: 神奈川通信三田会

会 長 竹原 貢 (090-8700-0300)

企画部長 伊藤 之 浩 (080-3527-6479)

E-mail: ito_y@docomo.ne.jp

「東南アジア連合三田会シンガポール大会」のご案内

◆日 時: 2025年11月23日(日)

◆会 場: シャングリ・ラサセントリーサ シンガポール
12:00~ 昼食会(当日の夜便で帰国可能)

◆大会参加費: お一人 24,000円

◆お問合せ先: 田沼千鶴子 全国副会長

E-mail: c.tanuma.1991@gmail.com

塾員センター人事異動

大変お世話になっていた中里史郎課長が入学センターへご栄進。
ご後任に佐々木信二課長(1991文卒)がご後任に。

◆会への連絡は下記へご連絡くださるようお願いいたします。

◎会へのご意見など 事務所へは郵送のみでお願いします。

緊急の用件の場合: 山岡会長

Tel 029-875-0533 (夜間6時~10時まで)

住所・姓名変更退会逝者など 田沼方 Fax 03-6874-6718

(住所変更は下記塾員センターへご一報!)

<https://www.wdc01.adst.keio.ac.jp/kj/jukuin/mailform.html>

◎新入会申し込み、会計関係(文書で)

〒340-0003 埼玉県草加市稲荷2-5-2 大川成一方

◎「全国通信三田会報」原稿送り先

〒376-0101 群馬県みどり市大間々84-18 星野寿美方

Tel & Fax 0277-73-1529 Eメール: sincere@vi.sunfield.ne.jp

【次号原稿締め切り: 令和7年12月28日まで 原稿字数800字位】

令和6年度 会計報告

(1) 収支計算書

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1-1: 収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	増減額
会費収入	500名 1,276,000	510名 1,135,000	10名 -141,000
受取利息	1,000	513	-487
行事収入	100,000	102,000	2,000
寄 付 金	50,000	52,000	2,000
前受より会費収入振替	37名 73,000	37名 73,000	0
当期収入合計(a)	1,500,000	1,362,513	-137,487
前期繰越収支差額(b)	5,829,070	5,829,070	0
収入合計(c)	7,329,070	7,191,583	-137,487

1-2: 支出の部

(単位: 円)

科 目	予算額	決算額	増減額
会議費	150,000	390,425	240,425
行事支出	100,000	80,000	-20,000
渉外費	50,000	86,830	36,830
ユニコン支出	20,000	58,938	38,938
事務費	70,000	22,376	-47,624
通信費	70,000	43,504	-26,496
会報費	800,000	742,006	-57,994
編集費	70,000	70,000	0
地域三田会援助金	50,000	60,000	10,000
情報処理代	100,000	492,705	392,705
予備費	20,000	42,870	22,870
当期支出合計(d)	1,500,000	2,089,654	589,654
当期収支差額		-727,141	
次期繰越収支差額		5,101,929	
次期繰越収支差額(c-d)		5,101,929	

(2) 貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	科目内訳	前年度決算額	当年度決算額
I 資産の部			
1. 流動資産	現金預金	5,994,070	5,314,429
2. 固定資産		0	0
資産合計		5,994,070	5,314,429
II 負債の部			
1. 流動負債	前受金	165,000	212,500
負債合計		165,000	212,500
III 正味財産の部			
正味財産		5,829,070	5,101,929
(当年度正味財産増減額)		-336,783	-727,141
正味財産及び負債合計		5,829,070	5,314,429

(3) 財産目録

2025年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	科目内訳	内訳金額	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金貯金	現金手許有額	35,432	
	郵便振替	82,200	
	郵便局総合貯金	2,194,684	
	郵便局定期貯金	3,002,113	
資産合計			5,314,429
II 負債の部			
1. 流動負債			
前 受 金	前受会費	212,500	
負債合計			212,500
正味財産			5,101,929

執行部においてパソコン3台、プリンター1台、会員管理ソフト一式、取材用カメラ1台、スピーカー1台、管理保有する。

全国通信三田会へご寄付いただきありがとうございます

赤岡充雄 様(神奈川県) / 阿部逸朗 様(東京都) / 大島幸子 様(兵庫県)
小島恵子 様(長野県) / 篠崎仁史 様(愛知県) / 野村政直 様(兵庫県)
伏屋重晴 様(愛知県) / 水木國美 様(北海道) / 吉永興子 様(神奈川県)
吉浜健二 様(神奈川県) / 星野寿美 様(群馬県) 以上11名

2024年度卒業式・卒業祝賀会 新たな門出295名

3月24日(月)「2024年度慶應義塾大学卒業式」が、日吉記念館で行われ、伊藤公平塾長から6038名の卒業生へ学位記が授与されました。通信教育課程からは295名の新塾員が誕生しました(文学部123名、経済学部81名、法学部91名)。

17時から川崎市総合自治会館4階ホールで「2024年度通信教育課程卒業祝賀会」が開催されました。

約140名(卒業生約100名+ご家族・教職員・塾員)が集まった卒業祝賀会では、進行役で卒業準備委員の品田京子君と水口賢司君による開会宣言があり、慶應義塾のビデオ映像に合わせて「塾歌」を斉唱しました。佐藤孝雄文学部長、駒形哲哉経済学部長、牛島利明商学部長、堤林剣法学部長の欠席に伴い、祝辞が紹介されました。その後、池田幸弘常任理事が卒業の意義を語り、卒業生に研究を続けるよう激励しました。そして、玉井清名督教授が大学教育の目的について述べ、乾



池田常任理事



山岡会長とユニコン賞受賞者



大屋通信教育部長

杯しました。

参加した先生方のご紹介です。

上枝美典教授「卒業までの苦労は、人生を10倍20倍とした」穂刈享教授「通信生の卒論への取り組みの素晴らしさを実感している」笠井賢紀准教授「着任5年、幸いにも20名ほど卒論指導してきた。通信大好きな教員で、『75周年記念誌』にも通信の学びの姿を書いており、皆さまとても尊敬している」山尾佐智子准教授「通信の卒論に関わることに、喜びを感じている」岡原名督教授「250人の通信生を担当し230人の方々の卒業させてきた。通信生は慶應義塾の宝だと思っている。通信大好き教員です」塩澤修平名督教授「通信の教育とは非常に長い関係があり、私も通信大好き教員です。何年経ってもいから卒業することに意義がある。これからは塾員の絆を大切にしたいだけだからと思う」原田範行教授よりビデオメッセージも流れました。先生方のご挨拶に「通信大

好き教員」の言葉が飛び交い、会場一同感激し大いに沸きました。

全国通信三田会の山岡恒夫会長が祝辞を述べ、「慶應義塾を卒業しても関係は続く」と強調しました。会長は、卒業後の52年間の三田会での学びや指導が役立ったことを話し、参加者にも三田会での楽しみを促しました。また、在学中に慶友会のリーダーとして貢献した佐藤修君と木村敦子君に「ユニコン賞」が贈られ、和やかな歓談を一層盛り上げました。

電動車椅子で参加の久保香奈子君は2024年度に卒業を迎えるにあたり、13年間の塾生時代の努力を振り返り、「先天性の持病から電動車椅子を使用し、体力的な挑戦も多かったが、課題やレポートの作成に苦労しながらも卒業を果たした。母の支えと励まし

が大きな力となり、失敗もあったが、晴れの姿を母に見せることができたことを親孝行と感じている。」彼女は爽やかな笑顔で会場を後にしました。歓談も終盤となり、木村敦子委員長は、来賓や三田会の皆様への感謝の言葉を述べ「卒業生に慶應義塾大学を誇りに思い、これからの人生を歩んでほしい」と激励しました。その後、大屋雄裕通信教育部長は卒業生に対し「卒業の喜びを感じたら今度は後輩を支える役目を果たすように」促しました。

最後に「若き血」と「慶應讃歌」を斉唱し、会場中に笑顔が咲き誇ったまま閉会しました。

星野寿美(2008文)

ユニコン賞 受賞者ご紹介

佐藤修君「慶應母親学生会」

2009年10月文学部に入
学、2024年9月卒業
2014年、2024年ま
で、副会長として10年間、卒業祝賀会と新入生歓迎会、総会の幹事および司会等を担当。夏季スクーリング中の保育活動面の環境を整えるなど献身的に活動し、会の安定的運営に貢献した。

木村敦子君「湘南慶友会」

2021年3月文学部に入
学、2025年3月卒業
2022年から文学部勉強会役員、2023年に副会長、2024年度に会長を務め、仲間を束ねるリーダーとして多くの成果を上げた。2024年1月通信課程の慶友会としては初めての三田祭への出席を成功に導いた。

佐藤修君よりご挨拶

歴史あるユニコン賞をいただき誠にありがとうございます。

「母親学生会」に入ったのは、当時一番下の娘が小4進級時、学童保育が小3までだったので、母親学生会のキッズルームに2年間お世話になりました。お世話になったことへの恩返しで副会長になりました。通信に入学し、スクーリングや慶友会で多くの人々と出会い、学問と真剣に向き合う姿勢を見て、社会的視野を広げることができました。全国通

木村敦子君よりご挨拶

ユニコン賞を受賞する栄誉を賜り感謝を申し上げます。

慶應通信の仲間と作り上げてきた慶友会での活動は忘れることができません。卒業後は通信三田会へ入会し、また新たな出会い、新たな親交を結んでいけたらと考えております。「慶應は卒業してからが楽しい！」という先輩方のお言葉を胸に、これからも歩んでまいりたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

会長紹介



栃木通信三田会
会長 近藤 正
(1992法)

栃木の会長、我がホープの「近藤正」さんは、1988年3月に、宇都宮大学大学院工学研究科(修士課程)修了後、栃木県の工業高校の教諭に奉職。同時に4月から本塾通信教育課程法学部に学士入学。1992年3月に卒業されました。塾卒業後も、放送大学で「発達と教育」専攻を卒業なさった、学びのスペシャリストです。

趣味である市民マラソンをこよなく愛し、月1回の大会出場を目指して楽しんでいらつしゃいますが、コロナ後は大会自体が減ってしまったと残念がついていました。栃木通信三田会では、機関誌「杉並木」の印刷、発送に加えて編集も担当大黒柱です。当会幹事や副会長を歴任して、令和元年より会長を務めておられます。

栃木工業高等学校に在職中は、「空飛ぶ車いす」活動に携わり、不要になつた車いすを学校で修理して国内外に寄付するとともに、生徒と一緒にタイ王国にそうした車いすを持参し、現地で修理を行う活動を行いました。また、

栃木工業高校の管理職時代には台風による水害に見舞われ、その復旧・復興にも手腕を発揮されました。

こうした近藤会長について会員に聞いてみました。次の通りです。

「とても頼りになる会長さんで尊敬しています。抜群のリーダーシップで栃木通信三田会を牽引、コミユ力の高さでムードメーカーとなっています。頭の回転も素早く、適切な判断をしてくださるので安心してついていきます。栃木通信三田会にとって大切な存在です。」

「近藤会長と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、「誠実」と「行動力」というワードです。会合でも飲み会でも近藤会長が加わると一挙に場が活気づき、皆が元氣になります。お名前の「近藤 正」の通り、人やものごとに誠実で、人の話をよく聞いて最良の方法を考え、実行に移すように協力してくれます。」

「工業高校の校長先生を務めた人だが、全く偉ぶらず気軽につきあいができる人である。少々忘れっぽいところも可愛嬌。」

と会員の信頼も厚いです。栃木通信三田会の合い言葉「あと10年は近藤会長で！」よろしく願ひします。皆ついで行きます。

(栃木通信三田会 副会長 関 和美)

「社中交流」

全国通信三田会 迫 一美
(2009経)

「朋有り。遠方より来たる。亦楽しからずや！」

この4月5日土曜日夕方、千葉市から我がふるさと鹿児島市に帰省しました。

鹿児島通信三田会のお二人(竹下会長とYさん)からお誘いを受けて何時もの「カフェ食堂 RAN」にてアルコール付き日替わり夜ランチセット(低コストを意識した店長のジョーク)を嗜みながら慶應義塾、三田会、不透明な世界情勢等喧々諤々多岐にわたる話題を議論し楽しい時間を過ごしました。

これに先立つ3月初めにYさんより、「慶應義塾大学の卒業式(3月24日)に卒後25年招待が届き参加することとした。ついでに卒論指導を受けた横山千晶先生とはコロナ禍以降連絡が取れなくなっていたが、折角の機会なので今回の卒業式にてお会いできたらと思っている。横山先生と連絡する方法はありますか?」とのご相談があり、日頃より卒業生名簿の提供依頼などお世話になっている塾員センターにご連絡したところ、「ご本人より塾員センターにメールして内容を問合せして下さい」とのご回答をいただき、その指示に基づきYさんより塾員センター宛てに問合せた後、事前に横山先生とメール出来たようです。



左から迫・Yさん・竹下会長

官僚政治とは一線を画し民主導を基本にされたと認識しておりますが、長崎にて若き薩摩の藩士たちは福澤先生から発展している西洋の事情を学んだとも聞いております。なお鹿児島県の地元では横山先生をお呼びしたいとの話もありその晩には私も都合をつけて参加したいと思っております。

信三田会みなさま、ご協力が必要な場合はお知らせください。

全国通信三田会 春期幹事会 松本交流会

松本通信三田会会長 松沢 茂
(1993経)

5月24日(土) 松本駅改札口に、北は岩手そして南は長崎、徳島から各地域の皆様が午前11時に集合、「翔峰」のバスに乗り、車内より松本城を見学し会場へ向かいました(当初は市内観光後に翔峰へ行く予定でしたが、企画展等々で混雑のため、車中より眺めることに変更になりました)。

美ヶ原温泉「翔峰」において「春期幹事会」(松本交流会)を開催。これまでの会議主体の幹事会とは異なり交流会的な形態での開催です。まず、翔峰の中庭で記念撮影をしましたが、本来なら山が美しく見えるのですが、曇っていたのが残念でした。交流会開始迄の時間は、足湯や温泉を楽しむ参加者もありました。

続いて交流会は全国通信三田会の瀬戸田副会長の乾杯で開始、全国通信三田会の山岡会長のご挨拶があり、矢澤明子地域連絡部副部長(松本通信三田会)より、松本市から始まった「30・10運動」(さんまる・いちまる運動)「乾杯後の30分とお開きの10分は、自分の席に戻り、食べることに集中して、食品ロスをなくしましょう!という運動について説明がありました。宴たけなわの中、長野県佐久市の橘倉酒造「若き血」銘柄の日本酒を紹介したところ、お酒の瓶を写真撮影する参加者もあり、多くの人に知ってもらえ良かったです。

食事も進み、参加者全員から一言ずつこ

挨拶となり、各地域の通信三田会から現在の活動状況やこれからの活動計画が報告され、貴重な情報を得ることができました。

最後に、木村顧問が音頭を執り、じゃんけんで勝った人に景品プレゼント(長野の自然カレンダール)で参加者一同が盛り上がりしました。そして、「若き血」を全員で肩を組み斉唱し、瀬戸田副会長のエールで盛会に交流会を終了することができました。終了後の数名の方々は「そば打ち体験」へ向かいました。

今回の交流会は準備等において本部の皆様大変お世話になりました。今後も地方開催の継続を楽しみにしております。



ハワイでの会員交流

沖縄通信三田会会長 長濱直次
(2002法)

沖縄通信三田会の先輩で、ハワイでご活躍中の聖田(旧姓大城)京子さん(以下「京子さん」と言います)にお会いするため、4月に夫婦でハワイを訪ねました。京子さんは8才の時に日米による沖縄地上戦を体験し、戦後の苦しい環境の中で高校卒業後は家計を助けるために就職しましたが、幼い頃からの夢である教師を目指し働きながら通信で、慶應大学文学部英文科で学ばれた方です。テキストの「人は自分の内にある能力と外から受ける環境や教育で成長していく。どこまで伸びるかはやってみないとわからない。そこに教育の魅力がある」に感銘を受け、躬行実践して中学校教員になられたあと、さらにハワイ大学大学院に進んで同大の教授に就任されました。(※)

ハワイの人口は沖縄と同じ約140万人で、日系人は約31万人(沖縄関係者は約5万人)、出身県別では広島、山口及び熊



「がじまる会」ランチに参加された皆さん
右前列 聖田京子さん、2列目金泉典義さん

アレキサンダー・カートライトの墓前にて「[Aloha and Sayonara] 表紙とのコラージュ」



(※) 詳細については全国通信三田会報第118号に掲載されています。

小雨のなかの慶早 レガッタ2025応援

神奈川通信三田会 竹原 貢
(2019経)

2025慶早レガッタは小雨のなか隅田川にて。早稲田・慶應義塾通教OB交流会の懇親会場は浅草神谷パー2階の窓際の指定席で従来の2/3のスペースで開催。雨マークの天気予報が参加者の出足を挫いたようである。11時の集合時間には予定した参加者早稲田3名、慶應9名の大半が着席。手慣れたもので乾杯用のビールはピッチャーで、忘れてはいけない電気ブランも揃った。

幹事の丸尾勝彦君から早慶レガッタ対抗エイトは世界三大レガッタ(日本・早稲田大学Vs慶應義塾大学、英国・オックスフォード大学Vsケンブリッジ大学、米国・ハーバード大学Vsイエール大学)の一つで対戦成績は早稲田49勝・慶應42勝同着1回、さらに三大早慶戦(対抗エイト、六大学野球リーグ戦、ラグビー関東対抗戦)の戦績を紹介し、さて今年は?と開会の口火が切られた。

早稲田中里義博会長からオープニングスピーチで応援合戦の始まり。恒例の参加者自己紹介に質問攻めで、場は盛り上がり気あいあいのその時、紺のブレザーに胸には慶應のエムプレムを配した紳士が、中里さんと私に近づき、ご丁寧な挨拶を受けた。なるほど慶早の応援ではこの様に相手に敬意をこめてご挨拶するのが応援のマナーと教えられた。交流の閉めに近づき、中



里会長と竹原は紳士グループにご挨拶の返礼。10人程の紳士グループは慶應義塾空手部OB仲間。それでは応援歌を一緒にとお誘いし、「紺碧の空」「若き血」を肩組み合って熱唱。

いざ決戦の桜橋へ。小雨がけぶる桜橋は何時もの人だかり。どちらが先かと見守るなか、早稲田が先に。これで対戦成績は慶應42勝50敗同着1回。来年の雪辱を期して、桜橋を後にした。



広島通信三田会 2025年度総会報告

広島通信三田会会長 瀬戸田 誠
(1989経)

4月19日(土)、広島通信三田会2025年度総会を「福山市民参画センター」で開催した。久しぶりの福山開催で出席者増を期待したが、時節柄所要やイベントも多く、間際の欠席連絡が相次いだ。しかし新会員(2名)の参加はとても嬉しかった。出席6名・欠席12名(委任状)・逝去2名で、会は成立。



議題の活動報告・次年度の活動予定の中で、特に「会則改定・交通費補助額を決める変動制とす



ることで、会の財政維持を支えることを確認」しているはずだったが、成文化されていなかったため、今後早急に「会則改定・見直し」をしていくことになりそう。事業報告・会計監査報告・事業計画他、議事通り進行し予定時間で終了。

会場移動は「グリスロ城町タクシー」を利用。言わば「ゴルフ場カートのような乗り物」で福山城を周遊し、南側(白い城)と北側(黒い城)の両方を見物出来る。今回は徒歩移動を避け、超短時間でプチ観光を楽しんだ。

12時半、会食は、福山ニューキャッスルホテル地下1階「和食堂 鯛の浦」で開催。参加者総勢6名で歓談会食。当初はバイキング形式も考えたが、極力起居を抑えたく、各々御膳形式とした。個室ではなかったため、聞き取りにくい・喋りにくい様子もあった。もう少し配慮せねばと思った。その後、ホテル1階ロビーで集合写真撮影。5月17日より世界バラ会議福山大会が始まり、ロビーもバラ会議一色だった。「ではまた会いましょう」と一礼し、解散。各々次に向かって行った。



塾員紹介

ユニコン賞から25年

東海林 徹君
(2000経)

Q 卒業25年おめでとうございます

A あつという間でした。3月24日(月)の卒業式に招待されて、卒業される塾生と共に新日吉記念館で、感激に浸りました。

Q 慶應義塾大学入学の動機は?

A 1962年東京理科大学理学部を卒業し、日本IBMでSE(システムズエンジニア)やPM(プロジェクトマネージャー)を長年務めておりました。しかし、システム開発を担当する中で、経済関係の知識が多く使われ、基本が解らず苦勞しました。

ある時、友人から慶應義塾を紹介されました。慶應義塾は、亡き妻の出身校で連合三田大会に足を運び、卒業生の結びつきの強さに感動していました。また、義弟は法学部出身の塾員、義父も医学部出身の塾員でお医者様。会社の代表取締役社長は工学部出身の塾員と、回りには多くの塾員がおりましたので...

Q そして、ユニコン賞へ!

A 1995年4月入学し、2000年3月に経済学部を卒業しました。

経済原論を始め、多くの学科を学びました。横浜慶友会に入会し勉強方法や試験対策は大変参考となり、後輩たちを励まし共

に単位を重ねました。晴れの卒業式では卒業証書を頂き、祝賀会では全国通信三田会から「ユニコン賞」に選ばれました。

Q 卒業後は三田会で活躍中

A 神奈川通信三田会に入会しました。卒業歓迎会で東神奈川の名門の料亭に招かれ感動しました。まもなく『神奈川通信三田会報』名の募集に応募し、『日吉の杜』が選ばれワインを頂きました。また、20年程前ですが、別々に開催していた「卒業論文発表会」を横浜慶友会と湘南慶友会の協力を得て、日吉キャンパスで合同開催しました。この卒業論文発表会は、勉強を続ける塾生の支援と卒業祝賀会を兼ね、塾生も大勢参加頂きました。

一方、全国通信三田会へ入会し、北海道、大阪など地方三田会行事に参加いたし、三田キャンパスで開催の「全国幹事会」にも参加させて頂きました。さらに友人から誘われて、横浜青葉三田会、三鷹三田会にも入会し、多数イベントにも参加しております。

なお、2000年の卒業生で作る「2000年三田会」の幹事に推薦され、日吉で開催の「連合三田大会」の運営を10年おきにお手伝いしました。大会終了後、ホテルでの「幹事慰労会」に招かれ御馳走になり、連合三田会の素晴らしさを実感致しました。

現在は、神奈川通信三田会のサークルの一つであります「楊明時太極拳」を稽古しています。

益々のご活躍を祈念申し上げます。
【聞き手・星野寿美】

【1】相大二郎名誉会長を偲んで 【2】相大二郎名誉会長「音楽法要」

京滋通信三田会会長 戸井善彦(1984迄・顧問兼広報 富家通江(1971迄)

昨年(令和6年)7月7日(日)午後4時半、「がんこ高瀬川二条苑」にて「偲ぶ会」が開催されました。

満87才で帰光(2024年5月25日15:05)された相名誉会長の遺影を会場に掲げ、戸井(京滋通信三田会会長)が「全国より多くのご出席(37名)をいただき、感謝申し上げます」旨の挨拶を行い、弔辞は全国通信三田会山岡恒夫会長の代読を、田沼千鶴子副会長(元慶應義塾評議員)より賜りました。

そして、出席者各位から相さんとの思い出などのお話いただき、富家顧問から相さんへの感謝、出席者皆様へ柔らかな心温まる言葉で締め括っていただきました。

ご家族ご挨拶を(相かをり様・増田さやか様)お嬢様2人よりいただきました。お父様とすごされた日常の様子など、相さんの優しさの一面、又教育者としての姿勢が醸し出されました。

納涼床に移り、七夕の夏空の下での献杯は堀田健全国副会長、納涼床ならではの「がんこ」の料理に舌鼓をうち、和やかな雰囲気の中、出席者が相さんへの思い出、慶應義塾への想いなど会話ははずみ、午後8時、姉妹の見送りを受け散会となりました。「がんこ」の美しい庭園も格別でした。

去る5月25日(日)午後4時、「がんこ高瀬川二条苑」で、音楽、特にベートーベン



音楽法要 (有志による演奏等) 敬称略(順不同)

・ヴィオラ・ダ・ガンバ演奏	河合 久美子
・謡曲	小山 幸夫
・オカリナ	高橋 茂代
・ギター	橋原 宏明
【慶應讃歌、塾歌、若き血】	
・ヴィオラ・ダ・ガンバ演奏	河合 久美子

わが町紹介

沖縄県石垣市

神奈川通信三田会 福里 清信
(2020経)



私が石垣島に住んでいたのは半世紀も前の高校3年生まででした。現在は神奈川県在住なので純粋に石垣島を「わが町」とは呼べないような気もしますが、兄弟や高校時代の同級生の多くが石垣島に住んでおり、私自身も年に4〜5回は帰省をしますので、沖縄県石垣市を「わが町(わが故郷)」として紹介させていただきます。

沖縄県は大きく分けると沖縄本島とその周辺離島、宮古諸島、八重山諸島の3つに分けられ、石垣島は八重山諸島の中心となっています。地理的に見ると東京から約2000km、沖縄本島から約400km、台湾から約270kmの位置にあり、中国との関係で何かと話題になる尖閣諸島も石垣市の一部となっています。また、八重山諸島は石垣市、竹富町、与那国町の1市2町で構成されていて、竹富島、西表島、波照間島など9つの有人島と7つの無人島で構成されている竹富町の町役場は石垣島に存在するというユニークな所でもあります。

八重山諸島が沖縄の歴史に登場してくるのは14世紀末のことで、15世紀末までは群雄割拠の時代を迎えていましたが、16世紀の初めに琉球王国に組み込まれていきます。沖縄は地理的に中国大陸、東南アジアの要路に位置しており、



石垣島の名勝 川平

中国を初めてとして近隣諸国との交易が盛んに行われ、タイからは泡盛の製造方法、中国からは建築、三線、門中墓、清明(シーミー)など多くのものを取り入れ、これらは現在でも沖縄を特徴づけるものになっています。

現在、石垣島には羽田、成田、大阪、名古屋、福岡などから多くの直行便が就航しているため、アクセスが非常にいい観光地として多くの人が訪れています。石垣島と同様に人気の観光地である隣の宮古島は周辺の島々が橋でつながっているのに対して、石垣島周辺の離島に橋はなく船での移動が中心です。船の便数も多く、ほとんどの離島には1時間ほどで行けるため宿泊、日帰りなどの様々な旅を楽しむことができます。

石垣島の人口は現在約5万人で、観光客だけではなく本土などからの移住者も増えています。地元の地域社会や伝統行事に溶け込むのは容易ではありません。石垣の伝統行事には観光客が簡単に参加できる「ハーリー」や「豊年祭」がある一方で、「シーミー」(石垣島では16日祭)など、外部の人が参加するのが難しいものもあります。

私は毎年1月に開催される石垣島マラソンに参加しており、その際には以前の職場や慶應で知り合った人々たちを誘っています。同時に、地元の人たちと交流することで観光だけでは味わうことができない文化や伝統に触れることも楽しみの一つと思います。できるだけ多くの人に石垣島を含む八重山諸島を訪ねて、新しい発見をして頂ければ嬉しく思います。

越川謙一前会長を偲んで



念に思います。

元会長の村田瑞穂さん(現・千葉通信三田会顧問)によると千葉通信三田会が再発足した当時は、会員数も伸びずに悩んでおりました。新会員の越川さんに協力をお願いしたところ、快く引き受けられて、平成13年に会長に就任されました。「再会が待ち遠しい、終わって後味さわやかで、元気が湧いてくる、そんな三田会に一步でも近づきたい」と抱負を語ってくれました。

千葉県は東京都の隣接地から房州までと広く、会員が一堂に集まるのは困難。そこで『千葉散策シリーズ』を企画して積極的に参加を募り、地元の会員との交流を心がける等、皆と知識を分け合いたいという努力を傾けられました。結果、今では百名に近い会員数となっています。

越川前会長は平成3年経済卒で、卒論は「公害による社会的損失と費用のあり方」で、当時「チェルノブイリ」「日航機」「スペースシャトル」と大きな事故が続いたことから、これをテーマとした研究でした。卒論発表の席でその内容を熱く語ったのが、今でも印象に残っています。(村田瑞穂さん談)

越川さんが亡くなる数日前に、私が携帯に電話したところ頭はしっかりしていて「幸治さん」と掠れて発した声が今でも耳に焼き付いています。最後は苦しい戦いだったことと、察せられました。どうぞ安らかに眠りください。心から「冥福をお祈りいたします」。

(千葉通信三田会 副会長 幸治典子)